BUTTERFLY Brain

WHITE PAPER · 企業メモリとナレッジ層

組織の知識を
一つの記憶に。

Butterfly Brainは、Butterflyプラットフォームの企業の記憶（組織知）です。意思決定、定義、ルール、過去の業務の背景にある文脈を捉え、整理し、必要なときに呼び戻します。すべてのButterflyアプリケーションはこの層から読み取り、学んだことをこの層に書き戻します。

捉える

手入力なしで知識を収集

整理する

重複を除き、意思決定にタグ付け

思い出させる

自然言語で質問、根拠とともに回答

組織内で稼働

知識は貴社のネットワークの外に出ません

エグゼクティブサマリー

企業の記憶を
個人に依存させない。

意思決定はチャットに、メモはファイルに、文脈は人の頭の中に残っています。チームが大きくなるにつれ、同じ質問が繰り返され、同じ作業が改めて掘り起こされます。

一般的な質問にはどのAIモデルでも答えられます。しかし、組織で実際に使われている定義、それを形づくった意思決定、その背後にある根拠を知っているのは、組織自身の記憶だけです。Butterfly Brainはこの記憶をナレッジ層として構築します。

Brainはチャットボットでもアシスタントでもありません。他のButterflyアプリケーションが読み取り、書き込む基盤となる層です。人とエージェントが作業する中で知識を捉え、整った状態を保つよう整理し、アプリケーションが必要なときに適切な文脈を問い合わせるアクセス層を通じて提供します。チームがButterflyを使うほどBrainの知識は増え、その上に構築されたすべてのアプリケーションがその恩恵を受けます。

本書の内容

- 分散した知識と失われる文脈の問題
- Brainの三つのステップ：捉える、整理する、思い出させる
- 一つの層、多くのアプリケーション：ある意思決定の流れ
- Brainを基盤とするアプリケーション：Presentations Agent、Coding Agents、App Marketplace、SDK
- どのようなチームに適しているか
- オンプレミス導入、モデル非依存、人による承認、よくある質問

成果

組織の知識は、検索可能で権限に基づく一つの記憶に集約され、アプリケーションとエージェントはこの文脈を使って動きます。

課題

知識は分散し、
文脈は失われる。

チームが大きくなると同じ質問が繰り返されます。回答が記録されていなければ、新しいメンバーはそのたびに一から文脈を集めることになります。

断片化したメモ

知識がファイル、チャット、人に分散し、誰も全体を把握できません。

繰り返される作業

「以前に解決した」と言われても記録がなく、作業がゼロから始まります。

組織から去っていく知識

人が辞めると文脈も一緒に失われ、企業の記憶がすり減っていきます。

文脈のないAI

組織のルールを知らないモデルは一般的な回答しか返せず、確認の負担がチームに戻ってきます。

答え

Brainはチームが生み出す知識をバックグラウンドで捉え、AIで整理し、問い合わせ可能な一つの記憶に変えます。知識は個人ではなく組織に帰属します。

仕組み

三つのステップで
機能する記憶。

Brainは意思決定とその根拠、組織の定義とルール、過去の業務の文脈を保持し、それらすべてをナレッジグラフで相互に結びつけます。

1 · 捉える

自動収集

作業セッションと企業の知識をバックグラウンドで追跡し、手入力なしで知識を捉えます。

2 · 整理する

AIによる整理

重複を除き、要約し、意思決定にタグを付けます。記憶は整理された最新の状態に保たれます。

3 · 思い出させる

即時の呼び出し

自然言語で質問すると、関連するレコード、意思決定、要約がスコア順に返されます。

4 · 提供する

あらゆる画面に文脈を

アプリケーションとエージェントが、必要なときに適切な文脈を問い合わせます。



検索と意思決定の記録。質問は自然言語で行い、意思決定、定義、要約が、根拠、出典、アクセス権限とともに返されます。

イメージ画面、サンプルデータ。

全体の構成

一つの層。
多くのアプリケーション。

Butterflyは単一の製品としてではなく、層構造で設計されています。Brainはアプリケーションの下に位置してすべてに文脈を提供し、各アプリケーションは学んだことをBrainに書き戻します。すべては貴社が所有するインフラで稼働します。



ナレッジ層。アプリケーションはBrainから文脈を読み取り、新しい知識を書き戻します。Brainは組織自身のインフラで稼働します。

ある意思決定の流れ

ステップ	何が起きるか
1 · TaskFlow	一定額を超える購買依頼に2段階目の承認が追加され、その決定と根拠がBrainに書き込まれます。
2 · Brain	決定は関連する定義や以前の文脈と結びつけられ、権限を持つすべての人とエージェントが参照できるようになります。
3 · Presentations Agent	プレゼンテーションの作成時、新しい承認ルールが一般的な文章ではなく、組織の実際の決定としてスライドに反映されます。

フローの例。ステップはイメージです。

アプリケーション

Brainを基盤とする アプリケーション。

Butterflyの各アプリケーションは単体でも役立ちますが、Brainによってさらに力を発揮します。すべて貴社のインフラで稼働し、貴社が承認したAIモデルに対応し、プロセスには常に人が関与します。

Presentations Agent

プレゼンテーションエージェント

機能

文書、データセット、プロジェクトを指定すると、構造化されたブランドに沿ったプレゼンテーションの草案を作成します。

BRAINとの連携

スライドには組織の定義、過去の意思決定、トーンが反映されます。承認なしに共有されるものはありません。

Coding Agents

コーディングエージェント

機能

リクエストを割り当てると、エージェントが適切なリポジトリを見つけて変更を行い、レビュー可能なマージリクエストを作成します。

BRAINとの連携

Brainから会社の文脈を読み込みます。セッションはiOS、Android、macOSからエンドツーエンドで暗号化されたチャネルを通じて管理され、承認は常に人が行います。

App Marketplace • SDK

自社のアプリケーション

機能

Butterfly SDKは、Swift、Kotlin、Go、Pythonを含む11言語のネイティブクライアントを提供します。App Marketplaceは社内アプリケーションをワンタップのインストールとOTA更新で配布します。

BRAINとの連携

アプリ内のフィードバックが、スクリーンショットとメモとともに作業項目になります。

プラットフォームにおける位置づけ

Brainは単一アプリケーションの機能ではなく共有の基盤層であるため、価値が蓄積されます。リクエストの分類時に捉えた知識が次のプレゼンテーションに活かされ、あるワークフローで記録された決定は、その後のすべてのエージェントが参照できるようになります。

機能

すぐに使える機能。

BrainはButterflyプラットフォーム上で稼働し、管理、権限、監査はプラットフォームが提供します。

意味とキーワードによる検索

ハイブリッド検索：意図を理解し、語句の完全一致も逃しません。

意思決定と要約の追跡

「何を決めたのか、どこまで進んだのか」に一か所で答えます。

iOSアプリ

記憶をポケットに：モバイルから検索、閲覧、共有できます。

MCPとRESTによるアクセス

使用中のツールの中からアクセスでき、別の画面に切り替える必要がありません。

自動整理

スケジュール実行されるAIワーカーが重複を統合し、記憶を整った状態に保ちます。

プレゼンテーション生成

記憶から共有可能なスライド資料を作成します。

なぜ重要なのか

オンボーディングが速くなる

新しいメンバーが質問せずに文脈を見つけられます。

知識の喪失が止まる

重要な文脈は個人ではなく組織に帰属し、退職によって記憶が消えることはありません。

チームが同じ事実を見る

信頼できる唯一の情報源により、繰り返される質問や矛盾する決定が減ります。

意思決定の質が上がる

過去の文脈をすぐに参照でき、決定は記録に基づきます。

対象となるチーム

企業の記憶を
個人への依存から解放したいチーム。

知識集約型で急成長しているチーム

マネージャー、プロジェクト・運用チーム

理由

チームが大きくなると同じ質問が繰り返されます。回答が記録されていなければ、新しいメンバーはそのたびに一から文脈を集めることになります。

効果

意思決定、定義、会議の成果を、検索可能な一つの記憶に集約します。

新しく加わるメンバー

人事部門とチームリーダー

理由

文脈が一人の頭の中にあると、オンボーディングはその人の時間に左右されます。

効果

新メンバーが過去の意思決定や組織で使われている定義を、質問せずに見つけられます。

ソフトウェア・IT部門

エンジニアリングとIT管理

理由

エージェントが組織のルールを知らずにコードを書くと、レビューの負担がチームに戻ってきます。

効果

コーディングエージェントが会社の文脈に沿って作業し、すべての変更は人の承認を経てマージされます。

適合性を確かめる四つの質問

項目	質問
知識の分散	意思決定とその根拠は現在どこに保管されていますか。共有の記録ですか、それともチャットや電子メールですか。
繰り返される作業	「以前に解決した」と言われても記録が見つからないことはありますか。
企業の記憶	社員が退職したとき、その人の知識は記録に残りますか、それとも本人とともに失われますか。
新しく加わる人	新しく加わった人は、組織の定義や過去の意思決定を検索可能な情報源から学んでいますか。

信頼と統制

組織内で、監査可能で、モデルに依存しない。

Brainの価値は、貴社の組織だけが知っている情報を保持することにあります。そのため、自社のインフラで稼働し、組織ごとに分離され、第三者と共有されないように設計されています。

統制と監督

- 公開前に人がレビューし承認
- モデル非依存：貴社が承認したエージェントとモデルを利用
- 組織ごとに分離された知識
- アプリケーション全体で改ざんできない監査ログ

導入とデータ

- オンプレミスまたはプライベートクラウドで稼働
- エージェントセッション向けのエンドツーエンド暗号化チャネル
- 知識、コード、プロンプトはネットワークの外に出ません
- 第三者とのユーザー単位のデータ共有はありません

個人データとKVKK

会議の成果ややり取りには個人データが含まれる場合があります。オンプレミス導入では、知識は組織自身のインフラで処理・保存されます。誰がアクセスできるか、知識をどのくらいの期間保持するかは、組織自身のKVKK（トルコ個人データ保護法）ポリシーで管理されます。Butterflyプラットフォームは、このポリシーを適用できるよう、ID、権限モデル、監査証跡を提供します。

認証

認証	範囲
ISO/IEC 27001	情報セキュリティマネジメントシステム
ISO 9001	品質マネジメントシステム
国産品証明書（Yerli Malı Belgesi）	業務プロセス管理ソフトウェア（Butterfly）、国産比率100%、Aクラス、ハイテクノロジー
技術製品証明書	Butterfly DXP、トルコ共和国産業技術省

すべての認証と検証リンク：butterfly.dev/ja/kurumsal/sertifikalar

よくある質問

Brainについての簡潔な回答。

Butterfly Brainはチャットボットですか？

いいえ。Brainは、Butterflyアプリケーションが読み取り、書き込む企業のナレッジ層です。意思決定、定義、文脈を保持し、アプリケーションとエージェントがその文脈を利用します。

知識は手入力するのですか？

その必要はありません。Brainは作業セッションや企業の知識からバックグラウンドで知識を捉え、AIが重複を除いて要約します。

検索はどのように行いますか？

自然言語で質問します。意味ベースの検索とキーワード検索を組み合わせたハイブリッド検索により、関連するレコードがスコア順に返されます。Web、iOSアプリ、MCP、RESTからアクセスできます。

データはどこに保管されますか？

Brainはオンプレミスまたは貴社のプライベートクラウドで稼働します。知識、コード、プロンプトはネットワークの外に出ず、第三者と共有されることもありません。

どのAIモデルに対応していますか？

Brainはモデルに依存しません。貴社が承認したエージェントとモデルを利用できます。

どのように評価できますか？

最も確実な方法は、貴社のインフラに導入するガイド付きの概念実証（PoC）です。Brainが貴社の文脈を捉える間、Presentations Agentとコーディングエージェントが貴社の監督のもとで実際の資料を使って作業します。導入、設定、現在のツールからの移行は当社チームが支援します。

Brainと各Butterflyアプリケーションを貴社の環境でご覧ください。

貴社のインフラに導入するガイド付きの概念実証で、Brainが組織の文脈をどのように捉えるかを一緒に評価しましょう。

概念実証を計画しましょう · butterfly.dev